

令和5年第12回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和5年12月21日（木）午後1時42分から午後2時35分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員（4名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	牛川 由美
教育委員	久原 寛	教育委員	和田 法明

○欠席委員（1名）

教育委員 潮見 眞千子

○出席説明員（7名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	轟 治峰
学校教育課長	高木 美智子	学校給食課長	吉開 和子
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	小鹿野 亮
文化・スポーツ振興課長	松木 勉		

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 山内 徳章

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について
令和5年第11回筑紫野市教育委員会会議録（令和5年11月30日開催）
2. 教育長の報告について（別紙）
3. 議案第34号 筑紫野市奨学生の選考について
4. 議案第35号 筑紫野市奨学生の選考について
5. 議案第36号 筑紫野市奨学生の選考について
6. 議案第37号 筑紫野市奨学生の選考について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【定例会】令和6年1月25日（木）午後3時00分 筑紫野市役所 301会議室

会議録

○教育長：事務局から報告をお願いします。

○教育政策課庶務担当係長：本日の会議には傍聴はございません。また、潮見委員が欠席です。ご報告させていただきます。

○教育長：ただいまから、令和5年第12回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。それでは、議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和5年11月30日開催の令和5年第11回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第2、教育長の報告の件

○教育長：

①お礼・報告・お願いについて

10月13日から12月11日まで 学力向上に関する学校訪問

11月9日から11月29日まで 教育長・教育委員懇談訪問

11月17日 令和5年度筑紫地区少年愛護連盟善行者表彰式

二日市小学校 4年生3名、2年生1名（高齢者への援助）

山口小学校 5年生1名（ボランティア活動）

筑紫野中学校 2年生3名（高齢者への援助）

二日市中学校 1年生1名（高齢者への援助）

筑山中学校 2年生1名（日常的な善行）

11月20日及び12月4日 令和5年度筑紫野市教育支援委員会

11月25日 令和5年度「市民フォーラム」

12月2日 第6回「福岡県中学生英語スピーチコンテスト」

筑紫野市代表 二日市中の3年生が出場

12月14日 山家小学校の研究発表会

12月22日 後期前半終了日

②インフルエンザ流行防止のための取り組みについて

学校日より等で冬休みの家庭での感染予防対策の取り組みとその継続

③自然教室、修学旅行等の実施について

本年度の修学旅行及び自然教室はほぼ実施終了

令和5年度管内教育長会議報告（12月14日）

所長挨拶

○年末年始に係る飲酒運転、綱紀粛正、不祥事の撲滅の取り組みのお願い

○人事管理班関係

・綱紀の厳正な保持について（資料1）

○教育指導室・教育相談室関係

・令和5年度冬季休業期間における児童生徒の指導について（通知）（資料2）

その他

○第24回筑紫地区人権・同和教育研究大会について

○教育長：ただいまの報告について、質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。

日程第3、議案第34号、筑紫野市奨学生の選考について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議ありませんか

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については、原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第35号、筑紫野市奨学生の選考について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については、原案のとおり承認されました。

日程第5、議案第36号、筑紫野市奨学生の選考について

- 学校教育課長：（提案理由の説明）
- 教育長：本件について質疑ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については、原案のとおり承認されました。

日程第6、議案第37号、筑紫野市奨学生の選考について

- 学校教育課長：（提案理由の説明）
- 教育長：本件について質疑ありませんか。
- 牛川教育委員：本人は進学する意欲があるようですし、将来の夢もあるので、貸与してあげたいと思います。
- 教育長：ありがとうございます。この方も奨学生として推薦してよろしいでしょうか。
- （特になし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については、原案のとおり承認されました。以上で本日の議事はこれで終了いたします。続きまして、各課等からの報告を受けたいと思います。

○教育部長：

私からは、令和5年第6回筑紫野市議会定例会、12月議会の報告をさせていただきます。

議会は12月1日から19日までの19日間開催されました。こども部を創設する組織機構の条例改正など41議案を提案し、全て可決いただき、閉会しております。

教育関連につきましては、12月補正予算ということで、学校給食の物価高騰対策事業、小・中学校の1か月分の学校給食費の全額減免の関係と、自治公民館への運営支援、これも物価高騰対策事業です。また、児童生徒用のタブレット端末の修繕費の不足分の増額ということで、このような補正を提案し可決いただいたところであります。

次に、文教福祉常任委員会では、地域学校協働活動事業、部活動の地域移行、ICT教育の推進、筑紫小学校の校舎の増築、事案の現状視察ということで、文教福祉常任委員会の委員さんに視察いただいております。

次に、一般質問についてでございますが、今回全体で16人の議員から一般質問があつております。そのうち9人から教育関連の質問がありまして、9人中の質問の中でお二人の議員から学校給食に関する質問がありましたので、この質問について紹介させていただきます。

まず、辻本議員から学校給食の公会計化についての質問であります。現在、学校給食費の公会計化については、文部科学省も、学校給食費の管理における公平性の確保や透明性の向上、徴収管理業務の効率化などの観点から進めなさいということで推進している状況の中、本市はどのようなかといったところの質問です。

本市においても、いろいろと改善をしなければいけない必要があるということは認識しているけれども、国の給食費の無償化についての動きがありますので、無償化になれば公会計化との関連が大きく影響することから、無償化の動向を踏まえながら検討を進めてまいりますという回答をしているところであります。

次に、前田議員からは、学校給食費の無償化です。全国的に見まして、町であるとか、小さな自治体であれば無償化を実現しているところもございますので、そういう動きもありまして、また、国の動きも踏まえて、筑紫野市はどのようなかといったご質問でございました。

辻本議員の一般質問との関連もございますが、現在、無償化については、1年間で毎年約5億3,000万円ほどの多額の経常経費が必要になるということから、これを全部市の単費でということは非常に難しい状況でございます。国の全面的な支援がなくては対応できないといったところがありますので、国が現在検討しています無償化の動きを踏まえて、しっかり検討してまいりますといった回答をしております。

以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

○教育政策課長：

私からは1点でございます。福岡教育事務所発出の質問への回答書についてでございます。

11月22日に太宰府市で開催されました令和5年度筑紫地区教育委員研修会の中で、意見交換会において出されました質問への回答書が届いておりますので、皆様方のお手元にお配りしております。

放課後子ども事業についてと、それから部活動の地域移行についてです。大きくはこの2点についての回答が届いておりますので、後ほどお読み取りいただければと思っております。

私からは以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

どうぞ後でゆっくりお読みになっていただきたいと思います。この前もいろいろと意見等を出していただいて、ありがとうございました。お礼申し上げます。

○学校教育課長：

先ほど話がありましたが、学校は明日、12月22日が後期の前半最終日になります。

冬季休業が12月25日から1月7日までということで、この間に学校閉庁日として12月25日から1月3日まで学校を閉庁するようしております。

以上です。

○教育長：子どもたちはいつから学校にきますか。

○学校教育課長：1月9日の火曜日からです。

○教育長：ありがとうございました。

○学校給食課長：

学校給食からは2点ご報告がございます。

まず、本日で今年最後の給食が無事終了いたしました。大きなトラブルもなく終了することができております。

6ページから9ページに1月の献立表を載せております。1月は、1月10日から給食を開始する予定としております。中身につきましては後ほどご覧いただきたいと思っております。

2点目ですけれども、学校給食物価高騰対策事業について、10ページに載せております。こちらは毎月給食費を助成している分でございますが、11月の実績が出ましたのでご報告いたします。

11月が、小学校の助成金額が303万7,000円、中学校の助成金額が180万2,400円、合計で483万9,400円を給食費に助成して、給食の質と量を確保しております。

また、これと別に、先ほど部長のほうからも触れられましたけれども、毎月の補助に加えて、1か月分の給食費を無償とすることが12月議会で可決されました。そのため、各学校において2月分の口座引落としを中止する方向で、今、手続きを進めていただいているところでございます。

以上、ご報告いたします。

○教育長：ありがとうございました。

○生涯学習課長：

生涯学習課からは2点、事業についての説明になります。

1点目は、令和6年はたちのつどいについてです。こちら資料はございません。

はたちのつどいを令和6年1月7日の日曜日。第1部を13時30分から14時15分、二日市中学校と筑紫野南中学校卒業者。第2部を15時30分から16時20分、天拝中学校、筑山中学校、筑紫野中学校の卒業者で開催予定としております。

対象者は全部で1,111人の予定となっております。

今年度も2部制で開催するということにはしておりますが、今年度につきましてはできるだけ来賓の方にも来ていただくということで、教育委員さん、青少年指導員など、声をかけて参加できる方については席を準備させていただいております。二十歳になった皆さんの姿を見ていただければと思いますので、お時間あれば、ぜひご参加いただきますようによろしく願いいたします。

2点目でございます。2点目は、お手元のほうに資料を1部配っておりますが、令和5年度第2回地域学校協働活動研修会の開催についてでございます。

日時につきましては、令和6年1月30日の火曜日、15時から17時。場所が生涯学習センターのさんあいホールにて開催予定としております。

内容については、学校運営協議会と地域学校協働活動についての講話ということにしておりまして、講師としまして、福岡教育大学の伊藤教授のほうにお話をいただく予定としております。

第1回目も教育委員さんには参加いただきましたが、今回は、広く地域の方とか学校運営協議会の方にも声をかけて、300人ぐらい入るところでお話をさせていただくようにしております。一般的な基礎的な内容から話していただくというところで考えておりますので、お時間あればご参加いただきますようによろしく願いいたします。

生涯学習課からは以上です。

○教育長：ありがとうございました。

○文化・スポーツ振興課長：

文化・スポーツ振興課から2点、イベントのご報告をいたします。

まず、12月2日土曜日ですが、市民図書館にて筑紫野市民図書館子どもと読書講座、冬のおたのしみ会「ほかほか、わくわく」を開催いたしました。

当日は、0歳から小学生までの約40人の子どもたちとその保護者に参加していただきまして、ボランティア団体の皆様による読み聞かせや、わらべうた、人形劇などをお楽しみいただきました。

2点目でございます。12月10日に筑紫野市文化会館にて、第21回ちくしの人形劇まつりを開催いたしました。今年度は4年ぶりに終日開催をいたしまして、延べ1,008人の皆様に人形劇をお楽しみいただきました。

文化・スポーツ振興課からは以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。二つにわたっての報告でございました。人形劇まつり。非常に盛り上がっていましたね。よかったですと思います。

○文化財課長：

文化財課からでございますが、ご報告は事業関係が3件、その他が2件ございます。

まず、令和5年度古文書整理速報展「古文書からの伝言」其の四ということで、「旅のガイドは木版画～旅にでかけましょう 一緒に！～」という展示会でございます。

10月14日から延べ56日間開催いたしまして、12月17日をもって無事に終了しております。

入場者数は2,276人でありまして、まずもって盛況であったことをご報告させていただきます。

次に、例年ですと1月から冬の企画展を開催しているところでございますが、今年度は1月から常設展示室と企画展示室の空調工事に入ります。このことにより企画展示室が使用できなくなりますので、博物館のロビーにおきまして、パネルを中心とした「筑紫野市のうつりかわり」展を1月13日土曜日から3月末日まで開催をいたします。併せまして、コロナ禍で休止をしておりました、小学校の博物館での昔の道具体験を再開いたします。1月17日水曜日から3月15日までの期間で受入れをするということで予定をしております。

また、お手元にチラシをお配りしてございますが、1月20日土曜日から3月24日日曜日にかけて、合計9回の歴史講座「文化薫道」を予定しております。文化薫道は文化財課の職員による連続講座で、様々なテーマがございますが、郷土の歴史や文化についてお話をするものでございます。内容につきましては、チラシをご覧くださいと存じます。

さらに、文化財課の主催事業ではございませんが、関連がある二つのイベントについてお知らせをさせていただきます。

まず、チラシをお配りしておりますが、年明けの1月31日に、筑紫野市観光協会が主催でございますが、イオンシネマ筑紫野におきまして、筑紫野市魅力再発見観光プロモーションビデオ上映会がございます。2本の短編の上映がございまして、ゲストスピーカーとして、私、小鹿野が歴史トークで登壇をするということで、入場無料、先着330名となっております。

それから、二つ目でございますが、これもチラシを置かせていただいておりますが、九州国立博物館の主催でございます「大宰府学研究」事業シンポジウムということでイベントが開催されます。

筑紫野市は交通の要衝であるというふうによく表現をされますけれども、古代の交通に関するテーマで、報告とパネルディスカッションのほうに小鹿野のほうに登壇するということが予定しております。こちらは入場無料、先着270名となっております。

本年は、岡田地区遺跡の古代官道が市の史跡に指定されるなど、筑紫野市においても古代史の取組が大きく進んだ年でもございました。今後とも筑紫野市の歴史のPRに積極的に努めてまいりたいと考えてございます。

文化財課からの報告は以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

それでは各課等からの報告を終わりたいと思います。続きまして、その他に移りたいと思います。教育委員の皆様、部課長からあればお願いします。

○学校教育課長：すみません、教育長。よろしいですか。さきほど学校閉庁日を申し上げましたが、来年度と間違えていましたので訂正します。

学校閉庁日は、12月26日火曜日から1月4日の木曜日です。失礼いたしました。

○教育長：ほかにございませんか。

○久原教育委員：教育部長から議会の件で、地域学校協働活動と部活動の件があったと思います。それと併せて、今度は教育事務所から部活の地域移行の件の回答があったと思いますけど、筑紫野市の地域移行の件はどんなふうに進んでいるのかというのを、お聞きしたいです。

○教育長：分かりました。高木課長お願いします。

○学校教育課長：現状としては、筑紫野市の庁内で関係するであろう各課と、この地域移行についての情報、国や県のガイドラインとか、そういったところを情報共有しながら、各課でどういった団体とつながっているか、各課でつながっている団体がどういった協力ができるだろうかとこのところをそれぞれ持ち帰っていただいています。来年度、協議会を開催して、いろんな方の意見を聞くようなことを考えています。それに向けて、その協議会の委員にどういった団体から出ただけこうかというところを各課に投げかけているような状況があります。

それと、昨日、関係各課を対象に、今、宗像市のほうで地域移行を進めてある主幹指導主事の先生に来ていただいて講演会をしていただいて、各課の職員の認識と伺いますか、これからどうなっていくんだというビジョンみたいなものを、宗像市が今やっている地域移行というのを示していただいて、それぞれの課において考えられるきっかけにさせていただこうというところで、講演会を開催しています。

それと、冬休みの期間を利用して教職員のアンケートを取ろうと思っています。

○教育長：部活動に関することですか。

○学校教育課長：はい。部活動に関してです。どういった意向があるか、ぜひやりたいか、どんな競技をやりたいとかいうのがあるのかと、あと、部活動に関して先生方はどんなふうと考えているかというところをアンケートで聞いていきたいと思っています。

○教育長：ありがとうございました。補足ありましたら、部長お願いします。

○教育部長：まず、受皿が現状どれだけ筑紫野市にあるのかといったところの把握も必要で、また、学校の先生の考え方もしっかり調査して把握する必要がありますので、まず、そういった調査関係がこれから出てくると思います。

そして、内部の協議はやっておりますが、外部の方の考えもこれから必要になってまいります

ので、外部の方を交えた協議会を組織して、その中でいろいろと協議していくということで、まずは、そこから動いていこうといったところで考えております。

○教育長：ありがとうございました。

○久原教育委員：新聞を見てましたら、一ついいなと思ったのがありまして、福岡大学のスポーツ課の学生が地域の中学生の部活動を指導しているという記事でした。ノウハウもいろんな形で、その結果を参考にしながら地域にも返していきたいというようなことが書いてあったと思います。ここから福大はちょっと遠いですが、国際大学とか、あるいは高校とかのことも考えられないかなと思いましたので、資料を集めていただけるといいのかなというのと、高校と連携ができて、一緒に活動ができることも特徴として今後考えられればいいかなというふうにも思いましたので、そのことも視野に入れておいてもらえたらなと思います。

○教育長：よろしいでしょうか。

○教育部長：はい。

○教育長：よろしく申し上げます。ありがとうございました。

○教育長：ほかにございませんか。

○（特になし）

○教育長：これもちまして、令和5年第12回筑紫野市教育委員会定例会を閉会といたします。